

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その1)

計画体系コード	5-4-1	事業名	平岡公園・梅林ライトアップ事業				
担当	観光文化局観光部観光企画課 梶田 TEL211-2376						
全体計画							
事業内容	集客交流の促進と道内外観光客の本市への入り込み数増加を図るため、札幌の新たな観光魅力づくりとして、平岡公園梅林において梅の開花時期に合わせ夜間のライトアップを実施するとともに、道内外への積極的なPRを行う。 また、北海道も18年度実施の花観光に引き続き19年度においても、花をテーマとして観光振興に取り組んでいる。本市としても、このライトアップ事業を通じ、花に関する新たな魅力づくりを進めることにより、北海道と有機的な連携を図り相乗効果を狙う。			<年度別の事業内容>			
				平成19～22年度 ・ライトアップ事業の実施及び観光客誘致の推進			
事業内容・量・場所・規模・件数等	平成19年度事業内容(決算)			平成20年度事業内容(予算)			
	<p>【事業概要】 ライトアップ期間:5月10日から21日までの11日間 ライトアップ時間:18:00から21:00まで ライトアップ方法:梅林を効果的に照らすことができるように、梅林内に仮設の鉄塔を2塔立て、鉄塔の上部に水銀灯を設置するとともに、来園者が滞留する売店付近のログハウス上に水銀灯を設置し、合計13塔で照射した。 夜間来園者数:14,300人(全日の来園者(ライトアップ期間)約87,900人の約16%を占めた)</p> <p>【事業費】5,108千円 PRチラシ作成95千円 電気使用料11千円 賠償責任保険料10千円 仮設照明設備設置費用2,709千円 交通誘導警備業務1,253千円 公園管理維持業務1,030千円</p>			<p>【事業概要】 ライトアップ期間:5月1日から11日までの11日間 ライトアップ時間:18:00から21:00まで ライトアップ方法:来園者が滞留する売店付近の園路沿いにある梅の木を約100塔のアップライトにより木の下からライトアップするとともに、第1及び第2駐車場からライトアップ実施エリアに向かう園路に、一定間隔で簡易照明(フットライト)を設置し、明と暗のメリハリある幻想的な雰囲気づくりを行う。 また、本事業を環境に配慮した事業とするため、ライトアップに使用するライトには消費電力を約40%カットすることのできる無電極放電ランプを使用する。 夜間来園者数:22,370人(平成20年度実績)</p> <p>【事業費】6,800千円 PRチラシ作成100千円 電気使用料80千円 賠償責任保険料10千円 仮設照明設備設置費用4,300千円 交通誘導警備業務1,260千円 公園管理維持業務1,050千円</p>			
達成目標の状況							
項目		18年度末 (現状)	19年度末 (実績)	20年度末 (予定)	21年度末 (予定)	22年度末 (予定)	22年度末 (目標)
梅開花時期の夜間入園者数		-	14,300人	22,370人	16,600人	17,600人	17,600人
市民・企業等との協働の状況(市民・企業等の参加、支援、協力の状況)							
<p>市民との連携、市民参加 市民に対しては、各メディア及びリーフレットを通し適宜情報提供を行い、周知を図りながら事業を推進していくよう努めた。</p> <p>企業等との連携・協働 [資金協力] [人材協力] [情報協力] [その他の協力]</p> <p>市民・企業等が参加しやすい環境づくり また、平岡公園のある清田区のまちづくりセンターとの調整のうえ、近隣町内会会長との本事業実施に係る打ち合わせ等を実施し、市民と協働の中で事業を実施するよう努めた。</p>							

平成20年度第2次新まちづくり計画事業進行調書(その2) (単位:千円)

計画体系コード	5-4-1	事業名	平岡公園・梅林ライトアップ事業				
評価(成果)		課題					
<p>来園者によるヒヤリングからは、本事業の実施により梅林の新たな魅力に触れることができたといった声を多数いただいている。さらに、来園者数で見ると、低温及び雨天の日が多かったにもかかわらず14,300人となり、全日の来園者(ライトアップ期間)約87,900人の約16%を占めていることから、本事業に対する関心の高さを知ることができた。</p> <p>これらのことにより、市民及び観光客への新たな魅力の提供により、集客交流の促進に寄与したと考えられる。</p>		<p>照射方法や範囲等のきめ細かい改善を進め、観光資源としての定着を目指し、関係部局・団体と継続実施のための協議を進めていく必要がある。</p> <p>また、旅行雑誌への積極的な掲載や、旅行代理店等に対しての積極的な売り込みを図るなど、本事業をアピールしていく必要がある。</p>					
今後の事業の予定・方向							
<p>平成19年度の事業実施により、来園者から好評を得ることができたとともに、開花期間中における来園者増等の効果があったので、今後についても平岡公園・梅林の新たな魅力をより発信するため、他都市における事例や来園者からの声をもとに、幻想的な雰囲気を作り出すための照射方法及び範囲等を再考し、さらに魅力あるものとしていきたい。</p> <p>また、市民参加の場の提供という観点から、平岡公園のある清田区との協働により、市民を主体とした催し物等を検討していきたい。さらに、関係部局・団体と継続実施のための協議を進めていく。</p>							
事業費の推移							
項目		19年度	20年度	21年度	22年度	計	
計画	事業費	6,300	6,900	6,900	6,900	27,000	
	財源内訳	国・道支出金	0	0	0	0	0
		市債	0	0	0	0	0
		その他	0	0	0	0	0
		一般財源	6,300	6,900	6,900	6,900	27,000
予算	事業費	6,300	6,800	-	-	13,100	
	財源内訳	国・道支出金	0	0			0
		市債	0	0			0
		その他	0	0			0
		一般財源	6,300	6,800			13,100
実績	事業費	5,108	-	-	-	5,108	
	財源内訳	国・道支出金	0				0
		市債	0				0
		その他	0				0
		一般財源	5,108				5,108
事業費の進捗率		(19年度実績事業費 + 20年度予算事業費) / (計画事業費)				44.1%	
計画との差異(予算・事業内容・規模・時期等)							
<p>(全体) 平成19年度、20年度については、予算等の大きな差異はないが、電力の供給元を仮設から高压に変更したため、その分予算が増えている。</p> <p>[19年度] 予算と決算の乖離の理由については、公園管理維持業務に係る委託先である札幌市公園緑化協会との連携により、節約執行ができたため。</p> <p>[20年度]</p>							